

長野県社保協ニュース <19-6>

2014年10月21日(火) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

<http://www.n-syaho.com>

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

市町村国保は都道府県化でどう変わる？ 10/18 国保連続学習会第1講座

<情勢・基礎編>開催



長野県社保協は、10月18日(土)「国保に強くなる活動家づくり」めざす国保連続学習会第1講座<情勢・基礎編>を開催しました。学習会には、当初の申し込みより多い45名が参加し、国保をめぐる緊迫した情勢や国保制度の基礎について学び合いました。

第1講座の学習会では、講師に埼玉社保協事務局長の丸山信二さんを迎え、「住民のいのちの支え手—市町村国保を考える」と題して講演がありました。講演では、「1. 展望なき暴走—むきだしの社会保障総攻撃、2. 国保は住民のいのちを支える社会保障の制度、その役割と課題、3. 住民にも、自治体にも、デメリットだらけの国保の都道府県単位化、4. 今が時代の転換点」と節毎に分けて話がありました。

講演のあと参加者からいくつか質問が出され、講師の丸山さんから丁寧な説明がされました。

講演への質疑応答のあと、当日配付された長野県の国保についての関連資料について湯浅県社保協事務局長から説明がありました。資料では、①9月25日に開催された「国保の都道府県化等に関する長野県混交福祉政策課国保係との懇談内容について、②長野県保険医協会が実施した国保の自治体アンケート特に短期保険証の発行状況（長野県は1ヶ月超短期保険証の発行が短期証の25%を占める異常な状態）、③長野県が発行した「H24年度国保事業報告」（抜粋）について、④大阪社保協が作成した全国市町村国保の会計収支状況表（一般会計からの法定外繰入、基金保有額など）についてなどが掲載されている。この件について、いくつか質問意見もあり、質疑応答の中で、各自治体ごとの特徴をよく掴み、かみ合った対応していこうと深め合いました。



<連絡と注意>

第2講座 <分析実務編> 会場を変更しました。

松本市「駅前会館」⇒「JA松本市会館」

第1講座が事前参加申込みしていた人員を超過しましたので、第2講座の会場を予定していた松本市「駅前会館」の会議室をキャンセルし、近くにある「JA松本市会館5階会議室」（定員120名）に変更しました。変更案内文をあらためて通知しますが注意してください。尚、開催日時は変更ありません。11月15日(土) 13:00~16:00(予定)です。